

地域計画

策定年月日	令和7年3月21日
更新年月日	— (—)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	八百津町 21505
地域名 (地域内農業集落名)	久田見地域 (長者屋敷、西山、薄野、嵩、樺、小草、中盛、後口、松阪、下田、入野、野黒、八幡、大平、小洞)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	55.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	55.4 ha
② 田の面積	52.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	16.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は、町の山間地域に位置し、久田見集落は昭和50年代に土地改良により圃場整備されたが、1区画の面積は比較的小さい圃場である。上吉田集落は、これまで圃場整備がされておらず、急峻な地形が多いため、耕作面積も狭い田畑が多い。農業者は、耕作者の約65%が70歳以上の高齢者で、後継者不足、担い手不足、離農者の増加により、耕作放棄地の発生が心配されている。

元々、先祖から引き継いだ農地で耕作する兼業農家の多い地域であったが、近年は都市部へと移住する人が多くなった。

基幹作物である茶は、組合化され共同作業を実施しているが、農業者は高齢化している。

また、農地を集積・集約する大きな経営体もなく、作業受託する組合もないため、ほとんどの農家が個人により農作業をしている。また、鳥獣による被害も甚大で、耕作意欲の低下により、今後の地域農業の継続が懸念されている。

一方、新規に就農した認定新規就農者が、有機農業等の新たな取り組みを実施している。

地域内の主な農作物は、水稲、茶、エゴマ、露地野菜である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

後継者不足などによる担い手不足が課題であるため、新たな担い手が必要となってくる。新たな担い手と期待できる移住者の就農など、多様な経営体が参入できるように支援する。

また組合化された茶部会も高齢化のため、若者の参画が必要である。

現在は、中山間地域等直接支払制度により耕作放棄地対策を行っているが、今後は、地域内の新たな担い手の確保・育成を図り、遊休農地化の解消に繋げていく。

40代から60代前半の比較的若い担い手が地域内に存在するため、それらの担い手を中心に、圃場の管理がしやすいよう農地を集約する。近年の米不足や価格の見直しにより、今後単価の向上が期待される水稲を主に、圃場を集約してコストを削減し、所得向上を目指したい。また、えごまや飼料用米といった特色ある作物を栽培する担い手もあり、その技術を若い担い手に継承し、今後も栽培を継続していく。山林周辺の農地では、獣害対策も考慮し農地の荒廃を防ぐ作物を検討していく。

有機農業等、環境負荷軽減の取り組みを推進していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
大規模農業経営が困難な地理状況であるため、小規模でもいいので新たな担い手の確保・育成を行い、農用地の利用を促進していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	60 %	将来の目標とする集積率	60 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
集団化は困難なため、新たな担い手により、相互協力による共同運営での経営化を目標とする。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
現在の担い手の耕作意欲の維持・向上のため、JAや県・町が一体となり、生産能力の向上、販路拡大、各種補助事業の活用等のサポートを実施する。また新たな担い手の確保のため、県・JA等の就農相談窓口との情報交換を積極的に実施する。就農希望者が現れた際には、農業委員会や集落の代表者が中心となり、地域の実情に応じた相談を行い、よりスムーズに就農できる態勢を整える。
(2)農地中間管理機構の活用方法
これまでは、地主と担い手の相対による貸借が主であったが、今後は農地中間管理事業による貸借に切り替え、国の機構集積協力金や町の補助金を活用し、担い手の支援・集約化を図る。
(3)基盤整備事業への取組
営農継続のための農業用排水路や農道の整備改良などを国や県の補助金等を活用して行っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
JA、可茂農林事務所、農業委員会と連携しながら、地域内外から多様な経営体を募集し、相談から定着まで切れ目のない取組を展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
今後検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

中山間地域等直接支払制度等を利用しながら、耕作されない農地を保全・管理していき、公的捕獲や獣害防護柵の設置による鳥獣被害対策を行い、地域内での耕作意欲低下を防ぐ。
新しく有機農業を始めた新規就農者には、今後の担い手として期待する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者 A	水稲等	6.34 ha	ha	水稲等	3.02 ha	ha	茶横線	久田見
2	利用者 B	水稲等	3.19 ha	ha	水稲等	2.22 ha	ha	水色横線	久田見
3	利用者 C	水稲、露地野菜等	2.62 ha	ha	水稲、露地野菜等	2.2 ha	ha	赤	久田見
4	利用者 D	水稲等	3.74 ha	ha	水稲等	2.1 ha	ha	青-1	久田見
5	利用者 E	水稲、飼料用米等	2.04 ha	ha	水稲、飼料用米等	2.04 ha	ha	桃	久田見
6	利用者 F	水稲等	1.99 ha	ha	水稲等	1.7 ha	ha	桃横線	久田見
7	利用者 G	水稲等	0.61 ha	ha	水稲等	1.37 ha	ha	緑	久田見
8	利用者 H	水稲等	1.08 ha	ha	水稲等	1.08 ha	ha	紫	久田見
9	利用者 I	水稲等	3.82 ha	ha	水稲等	1.06 ha	ha	黄横線	久田見
10	利用者 J	水稲等	0.77 ha	ha	水稲等	0.98 ha	ha	茶	久田見
11	利用者 K	水稲等	0.5 ha	ha	水稲等	0.92 ha	ha	橙	久田見
12	認就 L	水稲、露地野菜等	0.72 ha	ha	水稲、露地野菜等	0.72 ha	ha	黄	久田見
13	利用者 M	水稲等	0.67 ha	ha	水稲等	0.67 ha	ha	黒	久田見
14	利用者 N	水稲等	0.51 ha	ha	水稲等	0.64 ha	ha	黄緑	久田見
15	利用者 O	水稲等	0 ha	ha	水稲等	0.64 ha	ha	赤紫	久田見
16	利用者 P	水稲等	0.43 ha	ha	水稲等	0.56 ha	ha	緑横線	久田見
17	利用者 Q	水稲等	0.3 ha	ha	水稲等	0.54 ha	ha	青横線	久田見
18	利用者 R	水稲等	0.53 ha	ha	水稲等	0.53 ha	ha	赤横線	久田見
19	利用者 S	水稲等	0.54 ha	ha	水稲等	0.53 ha	ha	水色	久田見
20	利用者 T	水稲等	0.52 ha	ha	水稲等	0.52 ha	ha	紫横線	久田見
21	利用者 U	露地野菜等	0.33 ha	ha	露地野菜等	0.33 ha	ha	青クロス	久田見
22	利用者 V	水稲等	0.28 ha	ha	水稲等	0.28 ha	ha	赤クロス	久田見
23	利用者 W	水稲等	1.77 ha	ha	水稲等	0.27 ha	ha	黒横線	久田見
24	利用者 X	水稲等	0.09 ha	ha	水稲等	0.19 ha	ha	青-2	上吉田